



11/14(日)

## 忘れるな拉致県民集会



1977年11月に新潟市で拉致された横田めぐみさんをはじめとする北朝鮮による拉致被害者の早期帰国を願い、「県民集会」を開催します。めぐみさんの家族らが被害者の救出を強く訴えるほか、伊豆見元さん(東京国際大学特命教授)と川村晃司さん(ジャーナリスト)による対談、拉致報道写真展などを行います。

※新潟日報ホームページで集会の様子を同時配信

- 日時 11月14日(日)14時~16時半
- 会場 りゅーとぴあ(中央区一番堀通町) ●料金 無料
- 参加者 横田めぐみさん家族、曾我ひとみさん、大澤昭一さん、中村クニさん

申 10月29日金曜(必着)までに、はがき(〒950-8570、住所不要)、FAX(025-280-5126)、メール(ngt000130@pref.niigata.lg.jp)のいずれかで、「県民集会参加希望」、代表者の郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、参加人数(代表者含む)を新潟県国際課拉致問題調整室へ ※新潟県ホームページからも申し込み可。応募多数の場合抽選。当選者のみ入場整理券を発送

問 防災課(☎025-226-1143)



## 市政に意見を 市長とすまいるトーク

「コロナ禍における新潟市の未来に向けた取り組み」をテーマに、市長が市民の皆さんの意見を聴く「市長とすまいるトーク」を開催します。

傍聴のみの参加もできます。全会場で手話通訳・要約筆記を行います。発言は開催区に居住または通勤・通学の人に限りです。

※保育が必要な場合は要問い合わせ

申 10月22日(金)から電話(☎025-243-4894)、FAX(025-244-4894)、メール(4894call@call.city.niigata.jp)のいずれかで、「すまいるトーク希望」、参加者の氏名・電話番号(またはFAX番号、メールアドレス)、希望の会場を市役所コールセンターへ

問 広聴相談課(☎025-226-2094)

区	期日	時間	会場	定員
西	11/15(月)	19:00~20:20	黒埼市民会館	先着100人
江南	11/16(火)		江南区役所	先着75人
東	11/19(金)		東区プラザ	先着100人
北	11/21(日)	13:30~14:50	豊栄地区公民館	先着60人
中央	11/24(水)	19:00~20:20	市民プラザ	先着100人
南	11/25(木)		白根カルチャーセンター	先着80人
西蒲	11/28(日)	13:30~14:50	西川多目的ホール	先着100人
秋葉	11/29(月)	19:00~20:20	秋葉区役所	先着50人



## 補正予算など22議案を可決 9月議会定例会閉会



9月議会定例会が10月4日に閉会しました。新型コロナウイルス感染症対策などの経費を盛り込んだ一般会計補正予算や条例改正など22議案を可決しました。

問 議会事務局議事課(☎025-226-3395)

### 身近で開かれた議会へ 議会報告会 動画を公開

9月議会定例会での新型コロナウイルス感染症対策に関する審議概要などを報告する動画を、市議会ホームページで公開します。

●公開日 11月7日(日)

※動画は新潟市議会Facebookページにも掲載。報告資料は11月8日(月)から市政情報室(市役所本館)、区役所でも閲覧可

問 議会事務局調査法制課(☎025-226-3385)



## 八区魅力発見⑬ ~東区編~

近距離で地域の魅力を再発見する「マイクロツーリズム」が注目を集めています。今回は東区を訪れました。

### 今回の見どころは？

——北国街道沿いにある藤戸神社と大形神社です。新潟シティガイドの八木洋さんによると「鎌倉時代に築かれた藤戸神社には、源義経一行にまつわる伝説があります」とのこと。大形神社では禰宜の寺山仁文さんから「当神社は平安時代に創立され、1,200年以上の歴史があります」とお聞きしました。

### ほかにもお薦めはありますか？

——住宅地の中に松林やジュンサイなどの自然が残り、さまざまな動物が生息するじゅんさい池公園です。寺山さんによると「池には龍神様がすんでいるという言い伝えがあり、池の端の上道神社に祭られています」とのこと。池の周りには全長約1.7kmの遊歩道が整備されており、散歩やウォーキングで多くの方々が訪れます。

### 東区の魅力は？

——東区は日本最古の城柵「湊足柵」があったと考えられているほか、牡丹山諏訪神社古墳で円筒埴輪の破片や鉄製のよろいの破片が発見されるなど、歴史を感じることができます。ぜひ東区の魅力を探しに足を運んでみてください。



▲藤戸神社。鎌倉時代の武将・佐々木盛綱が凱旋途中に戦勝を祝って築いたと伝えられている



▲大形神社。かつては海水が満ちると周辺の低地が大きな潟のようになったことからこの名が付き、地区名の由来にもなっている



▲じゅんさい池。左から大形神社禰宜寺山仁文さん、中原市長、新潟シティガイド八木洋さん ※撮影時のみマスクを外しています